

JOB REPORT

水流方向自在式「水中攪拌機」

生コンプラント工場の汚水処理プロセスにSA-300P200形攪拌機を納入したが、定置式では攪拌力がとどく中央部分しか攪拌されず、ピットの隅に汚泥が堆積してしまうという問題点が発生した。

問題点を解消させるため、(株)北川鉄工所の技術の方々と共同検討の結果、次のように改善。

- ①エアースリンダーを使用し水中攪拌機が左右に動くようにした。(図 1. 2)
- ②攪拌能力を高めるためプロペラ外径を大きくした。

以上の結果、槽の隅に汚泥が堆積することなく、均一攪拌に成功した。

〔運転順序〕

- (1) ①方向へ向けて任意の設定時間で攪拌させる。
- (2) エアースリンダーにより本体を120°回転させ、②方向に向けて攪拌させる。
- (3) 時々、一旦停止した後、逆回転運転をして自己清掃を行う。

なお、水流方向は任意に設定したプログラムに従い、自由に変えることができる。

生コンプラントで攪拌機を採用されるのは珍しくないが、今回のように攪拌方向を時間とともに変える方法を採用したのは、同業界では初めてである。

納入先…(株)北川鉄工所殿 経由 山陽ブロック工業(株) 殿

使用機種…SA-350LP170形 4台

- モータ出力 3.3kW
- プロペラ外径 316mm
- プロペラピッチ 170mm

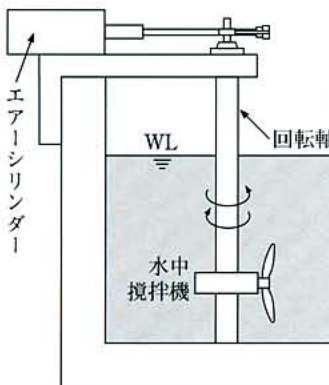


図1

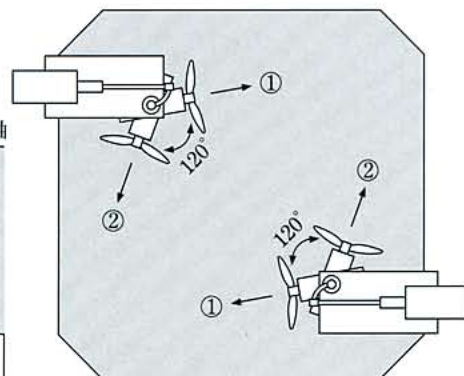


図2

